

平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会用)

評価者名 総務委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	●本市に暮らす外国人への行政サービスや情報提供が充実し、交流が活発に行われ、ともに安心して暮らしています。 ●市民レベルでの国内外の外国人との交流により、市民の国際感覚・国際理解が育まれています。	部課等名	企画部 秘書広報課	評価表整理No	01-002
事務事業名	国際交流事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		姉妹友好都市の交流事業で市民レベルでの外国人との交流ができていない。 また、時代や状況の変化により、姉妹友好都市の見直し時期がきているのではないかと見られる。外国人日本語教室「さくら」は、行政が国際交流団体を支援して行われているが、これが直接、半田市に暮らす外国人への行政サービスや行政情報の提供が充実しているとは言えない。 以上の理由により、この事業は基本施策から乖離しているため有効性が低いと判断する。
	②有効性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)	○	
	⑥有効性がない(0~20点)		

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		国際交流団体への支援のあり方・関係や民間のノウハウを生かした事業形態など、市民レベルで交流できる事業に重きを置き、事業内容の精査・整理が必要であるなど、結びつく事業が行われていないのが、現状である。 以上の理由により、この事業は改善の余地は多いと判断する。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)		
	⑤改善の余地は多い(21~36点)	○	
	⑥改善の必要がある(0~20点)		

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		半田市に暮らす外国人への行政サービスや情報提供は、行政が主体的にやるべきである。しかし、姉妹都市間の交流や市民レベルでの外国人との交流は国際交流団体など民間のボランティアレベル中心で行うべきである。 以上の理由により、この事業はどちらかといえば妥当性が低いと判断する。
	②妥当性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)	○	
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本施策を具体化し、行政がやるべきこと(行政サービスや情報提供の充実)と、民間がやるべきこと(外国人との交流、市民の国際感覚・国際理解)は、予算も含めて区分けして事業を推進すること。その際に事業担当を明示し、所管換えなどを含め担当部署を検討すること。</li> <li>(a) 市は、外国人に対する行政サービスや行政情報の提供に特化して行うこと。</li> <li>(b) 市民レベルでの国内外の外国人との交流促進のための事業は、外部団体(国際交流協会等)に委託すること。</li> <li>(c) 民間へ委託した場合は、外部団体の活動成果を検証する仕組みをつくること。</li> </ul> <p>・姉妹友好都市との関係は、継続の判断も含めて見直すこと。</p>
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>市でやるべきことと、民間へ委託することを区分けして事業を行うこと。</li> <li>外部団体への委託は、補助金交付で無く、多文化共生社会の形成のために委託業務として、必要な予算を計上すること。</li> </ul>
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul>

平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会用)

評価者名 総務委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	●自助・共助の精神で、住民同士が助け支えあう地域社会が形成されています。 ●コミュニティ活動が活発に行われ、地域の問題は地域で解決する取り組みが展開されています。 ●多くの住民が積極的に自治区の活動に参加し、地域の構成員としての役割を果たしています。	部課等名	企画部 市民協働課	評価表 整理No	04-005
事務事業名	自治振興推進事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		地域の問題は地域で解決する取り組みが展開されるための自治振興費の各自地区への助成金の交付は有効であるが、自治区加入率は横ばいである。 以上の理由により、この事業はどちらかといえば有効性が高いと判断する。
	②有効性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)	○	
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)		

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		自治区に加入することで、加入者が恩恵を受けるようなくみ作りが必要である。 また、自治振興費の各自地区への助成金の交付は、その金額の算出方法や金額についてなど検討の余地があると思われる。 以上の理由により、この事業はどちらかといえば改善の余地は高い判断する。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)	○	
	⑤改善の余地は多い(21~36点)		
	⑥改善の必要がある(0~20点)		

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		自治区と行政が協働し、助成金を交付することで地域活動を支援し、自治区加入を促進する事業は行政が行うべきである。 以上の理由により、この事業は妥当性が高いと判断する。
	②妥当性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の目標として、自治区加入率を向上させる仕組みを、行政からも後押しする仕組みをつくること。例えば、自治区に加入することで、加入者が恩恵を受けるような仕組みづくりをすること。具体的には、指定ごみ袋について、自治区加入カードなどを配布するなど、販売店との協力で安価に入手できるような仕組みをつくること。</li> <li>・マンションなどの世帯の自治区加入率向上のため、例えばその管理組合に要請し、自治区加入と区費は共益費に包括するなど取り組み、またその取り組みに対しては優遇措置も併せて検討すること。</li> </ul>
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治区、町内会活動への住民意識アンケート調査を行なう。</li> </ul>

平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会用)

評価者名 総務委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	●課題解決に向けて、ボランティアや市民活動団体がその特性を生かし、活発かつ自主的な取り組みを行っています。 ●多くの企業が地域の一員としての役割を担い、社会貢献活動を活発に行っています。	部課等名	企画部 市民協働課	評価表 整理No	04-013 04-014
事務事業名	市民活動初動支援助成事業 市民活動公募提案型事業費助成事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		市民にとって、公益的な事業を行う、市民活動団体を支援するため、経費の一部を助成することは、地域の活性化につながると考える。しかし有効性がないとの意見があり、以上の理由により、この事業はどちらかといえば有効性が高いと判断する。
	②有効性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)	○	
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)		

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		助成団体の事業結果を検証し、審査方法や評価項目の見直しなどの改善をするべきである。 また、審査に関しては、市民活動団体と自治区とは、別基準で行うべきであり、市民活動初動支援助成事業に関しては、単年度の助成で終わらせるべきではないと考える。 以上の理由により、この事業はどちらかといえば改善の余地は高いと判断する。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)	○	
	⑤改善の余地は多い(21~36点)		
	⑥改善の必要がある(0~20点)		

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		民間のサポート事業もあるが、市民協働の意味を市民に積極的に啓発するためには、この事業の改善を進めた上で、行政が行う必要がある。 以上の理由により、この事業はどちらかといえば妥当性が高いと判断する。
	②妥当性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)	○	
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請された事業の、目的(初動支援＝市民活動団体が自立し活動をスタートさせる必要経費・公募提案型＝非営利で公益を目的とした事業費)と公益性を、よりの確に審査すること。また助成された事業は、事後の検証ができる仕組みを審査会に持たせること。</li> <li>公募提案型事業は非営利で公益性を持った本来あるべき姿にする。自治区の助成は公募提案型支援事業とはべつに検討すること。</li> </ul>
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募提案型支援の助成のうち、自治区への予算については、自治振興費の増額などを再検討すること。</li> </ul>
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募提案型事業は、民間事業者の利益を財源に半田市よりも大きな予算規模で類似事業を展開しているため、「民間でできることは民間でやる」の発想の元、事業を廃止する。</li> <li>初動支援は単年度の助成ではなく、活動が安定するまで(2~3年)助成する。</li> </ul>

平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会用)

評価者名 総務委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	●社会経済環境や市民ニーズに的確に対応し、質の高い行政サービスを提供できる効率的で経営体力に見合った行政規模への転換を図り、自立した地域経営を行っています。 ●「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で定める財政健全化指標を始めとするさまざまな財政指標に留意しつつ、健全な財政運営を行っています。	部課等名	総務部 総務課	評価表整理No	05-004
事務事業名	入札・契約手続管理事務				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		この事業は必要不可欠であるが、質の高い行政サービスの提供ができる効率的で経営体力に見合った行政規模への転換を図り、自立した地域経営を行い、健全な財政運営を行うべきである。 以上の理由により、この事業はどちらかといえば有効性が高いと判断する。
	②有効性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)	○	
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)		
		59	
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		広く業者を募り、民間の競争力により価格を引き下げようとしても、結果的には不調となり、時間的に随意契約となる事例も起きている。 また、時代にあった入札制度のしくみを見直す必要があると考える。 以上の理由により、この事業は、どちらかといえば改善の余地は高いと判断する。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)	○	
	⑤改善の余地は多い(21~36点)		
	⑥改善の必要がある(0~20点)		
		41	
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		入札の執行と契約等の手続き管理は、行政にしかできないことであり、職員の質を高め、行政が行うことは当然である。 以上の理由により、この事業は妥当性が高いと判断する。
	②妥当性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		
		83	

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争原理を使った安価な発注と、市内経済の活性化という相反する入札制度を、どのように位置づけるのかを整理し、半田市の理念と制度を確立すること。</li> <li>・事業の一層の改善をするために、他自治体の入札・契約事業の事例調査をすること。</li> <li>・現在の入札制度の中に公契約制度を含めて、入札のあり方を改めて検討をすること。</li> </ul>
予算提案	・なし
少数意見	・なし

平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会用)

評価者名 総務委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	●公共施設などの耐震化が進み、大地震でも被害を最小限に抑える体制ができています。 ●「自分の身は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識が高まり、自主防災組織の活動が活発化しています。 ●大規模災害発生時には、行政と市民が協力して初動対応・復旧・復興を円滑に行っています。	部課等名	総務部 防災交通課	評価表整理No	09-016
事務事業名	災害対策事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		市民の生命、財産を守るため、地域の防災力を高め、災害による被害の軽減を図ることや、自主防災会の活性化、自助、共助の意識を高めるためのこの事業は必要である。 以上の理由により、この事業の有効性は高いと判断する。
	②有効性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)		
74			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		自主防災訓練の実施回数や方法など形骸化しており、地域の実状にあっていない。 また、初動時は、自治区、自主防災会に拠るところが大きいものがあり、日常から自主防災事業などの連携を強化する必要がある。 以上の理由により、この事業はどちらかといえば改善の余地は高いと判断する。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)	○	
	⑤改善の余地は多い(21~36点)		
	⑥改善の必要がある(0~20点)		
38			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		自助、共助、公助のバランスを考えると、市民協働の理念としては、市民が積極的に行う必要があるが、まだまだ行政が積極的に牽引する事業でもある。 以上の理由により、この事業は妥当性が高いと判断する。
	②妥当性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		
78			

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災訓練は、それぞれの地域の実状と、被害想定に即した防災訓練にすること。</li> <li>・各自治区の自主防災会と、避難所担当の行政職員との連携を普段から密にして災害時に備えること。</li> </ul>
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合防災訓練における予算配分を減らし、地域ごとの防災訓練に配分すること。</li> </ul>
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震に備えるための家具転倒防止などの対策を強化する。</li> <li>・市民の防災意識向上の取り組みについては、民間団体(VCの会)などに委託をする。</li> <li>・地域の代表的な人物を防災リーダーとして育成し、地域で活躍できるように力を入れる。</li> </ul>